

METHOD AND SYSTEM FOR PROVIDING COMMODITY INFORMATION

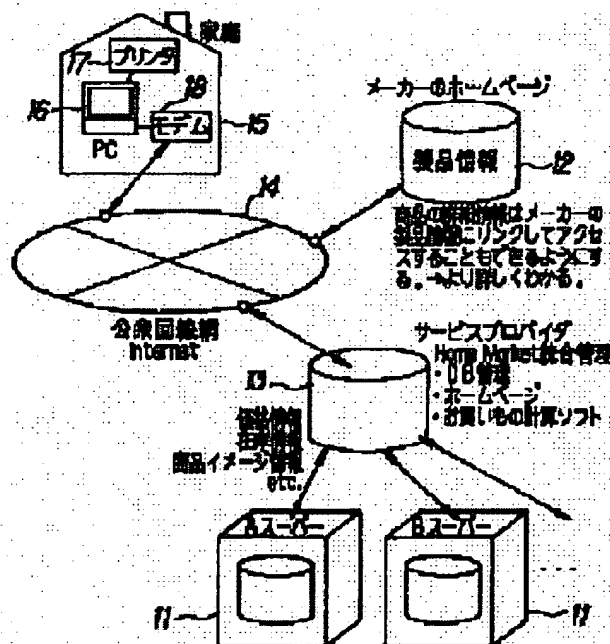
Patent number: JP10063749
Publication date: 1998-03-06
Inventor: KUBOTA HIROSHIGE; YAMADERA HITOSHI; MASAJI SHIGEKI
Applicant: HITACHI LTD
Classification:
- international: G06F19/00; G06F17/60; G06F17/30; G07G1/14
- european:
Application number: JP19960222854 19960823
Priority number(s): JP19960222854 19960823

Report a data error here

Abstract of JP10063749

PROBLEM TO BE SOLVED: To support shopping by making it possible to retrieve the detailed information on a commodity desired to be purchased by a user and which store sells the commodity at a discount price.

SOLUTION: Commodity information is provided by retrieving an electronic commodity information database. The database are provided from plural stores and managed by a service provider 13. A user 15 can know the detailed information, price, etc., of a required commodity by accessing each database by using a store name, a commodity sort, a discount article or the like as a key and use the obtained data for shopping. A commodity to be purchased by mail order can be reserved by determining its purchase on the way of access to the database.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-63749

(43)公開日 平成10年(1998)3月6日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F	19/00		G 0 6 F	15/24
	17/60		G 0 7 G	1/14
	17/30		G 0 6 F	15/21
G 0 7 G	1/14			15/40
				3 3 0
				3 1 0 F
				3 7 0 Z
			審査請求	未請求
			請求項の数60	OL (全 14 頁)

(21)出願番号 特願平8-222854

(22)出願日 平成8年(1996)8月23日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 久保田 太栄

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72)発明者 山寺 仁

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72)発明者 政次 茂貴

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(74)代理人 弁理士 武 顕次郎

(54)【発明の名称】 商品情報提示方法及びシステム

(57)【要約】

【課題】 ユーザが購入したい商品の詳細情報、その商品がどこで安く手に入れることができるかを検索可能として買物の支援を図る。

【解決手段】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を提供する。データベースは、サービスプロバイダが多数の販売店から提供されて管理される。利用者は、販売店名、商品ジャンル、特売品等をキーとしてデータベースをアクセスし、所望の商品の詳細情報、価格等をしり、買物に役立てることができる。また、通信販売で購入できる商品については、データベースへのアクセスの途中で購入を決定して申し込むことができる。

法。

【請求項20】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択するステップと、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに有することを特徴とする請求項18または19記載の商品情報提示方法。

【請求項21】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項18、19または20記載の商品情報提示方法。

【請求項22】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項18ないし21のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項23】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択するステップと、利用者が検索しようとする特売品の商品名または商品種別を選択するステップと、前記商品名または前記商品種別に関連した特売品を表示するステップとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項24】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項23記載の商品情報提示方法。

【請求項25】 前記特売品を、それを取り扱う店舗名と共に表示し、前記特売品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示することを特徴とする請求項23または24記載の商品情報提示方法。

【請求項26】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択するステップと、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに有する構成とを特徴とする請求項23、24または25記載の商品情報提示方法。

【請求項27】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項23ないし26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項28】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項23ないし27のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項29】 選択した商品とそれを取り扱う店舗とを一覧表として表示するステップをさらに有することを

特徴とする請求項3、9、15、20、26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項30】 選択した商品を取り扱う店舗の売場レイアウトを表示するステップをさらに有することを特徴とする請求項3、9、15、20、26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項31】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法を入力する検索方法入力手段と、複数の店舗名を表示する店舗名表示手段と、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示する商品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項32】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項31記載の商品情報提示システム。

【請求項33】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項31または32記載の商品情報提示システム。

【請求項34】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項31、32または33記載の商品情報提示システム。

【請求項35】 前記店舗名を前記店舗の位置を示す地図と共に表示する店舗位置表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項31ないし34のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項36】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項31ないし35のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項37】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに店舗を選択して検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、複数の店舗名を表示する店舗名表示手段と、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示する商品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項38】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項37記載の商品情報提示シ

テム。

【請求項39】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項37または38記載の商品情報提示システム。

【請求項40】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項37、38または39記載の商品情報提示システム。

【請求項41】 前記店舗名を前記店舗の位置を示す地図と共に表示する店舗位置表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項37ないし40のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項42】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項37ないし41のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項43】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに商品名または商品種別を選択して検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、利用者が任意の商品名または商品種別を選択する商品名・商品種別選択手段と、選択された前記商品名または前記商品種別に関連した商品を表示する商品表示手段と、前記商品をそれを取り扱う店舗名と共に表示し、前記商品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示する店舗名表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項44】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項43記載の商品情報提示システム。

【請求項45】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項43または44記載の商品情報提示システム。

【請求項46】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項43、44または45記載の商品情報提示システム。

【請求項47】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店

舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項43ないし46のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項48】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択することが可能な検索方法選択手段と、特売品を取り扱う少なくとも1つの店舗名を表示する店舗名表示手段と、表示された前記店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗において取り扱われている特売品を表示する特売品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項49】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項48記載の商品情報提示システム。

【請求項50】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択する特売品選択手段と、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項48または49記載の商品情報提示システム。

【請求項51】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項48、49または50記載の商品情報提示システム。

【請求項52】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項48ないし51のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項53】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、利用者が検索しようとする特売品の商品名または商品種別を選択する商品名・商品種別選択手段と、前記商品名または前記商品種別に関連した特売品を表示する特売品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項54】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項53記載の商品情報提示システム。

【請求項55】 前記特売品をそれを取り扱う店舗名と共に表示し、前記特売品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示する店舗名表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項53または54記載の

のデータ授受をスムーズに行うことができるだけでなく、サービスプロバイダは記憶媒体を配布する必要もない。そしてデータに変更があった場合、変更箇所のデータだけをダウンロードしなおせばよい。

【0023】次に、図4～図6を参照して本発明の一実施形態の操作手順と表示画面の例とを説明する。

【0024】(1) 商品情報を知りたい顧客は、自宅内のパソコン16を使用して、サービスプロバイダ13に備えられるデータベースに公衆回線14を介してアクセスし、あるいは、インターネット上に開かれているサービスプロバイダ13のホームページの商品情報提示のためのデータベースにアクセスする。これにより、例えば、図5(a)に示すように、「SHOPPING NAVI」等のタイトルと探し方を選択するためのボタンとが表示された初期メニュー画面が表示される(ステップ401)。

【0025】(2) 表示された探し方を選択するためのボタンの店舗選択のボタンをマウス等により指示することにより、図5(b)に示すように、このデータベースに商品データを提供している販売店であるスーパー等の店名とこれらの店の位置を示す地図とが表示される(ステップ402、403)。

【0026】(3) 顧客が買物をしたい店名を指示すると、その店で提供されている商品の写真等のイメージと価格とが図5(c)に示すように複数商品についてチラシのように表示される。このチラシの画像は、あたかも、紙にプリントされたように紙のエッジが裁断されているように、また、その隅がまぐれて表示される。このまぐれは、次のチラシの画像があることを示しており、この部分を指示することにより、ページをめくるように次々とチラシの内容が変わってその店で販売している商品で情報提供されている全ての商品についての表示が行われる(ステップ404)。

【0027】(4) ステップ404で多くの商品を見ている途中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図5(d)に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる(ステップ405)。

【0028】(5) ステップ405の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図5(e)に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、順にチラシの頁をめくってステップ404からの操作を繰り返す(ステップ406、407)。

【0029】(6) ステップ402で、表示された探し方を選択するためのボタンの中の商品選択のボタンをマウス等により指示すると、図5(f)に示すように、こ

のデータベースに登録されている商品ジャンル名が表示され、その1つを指示(図5例では食料品を指示している)すると、図5(g)に示すように、そのジャンルの小項目名が表示される(ステップ408、409)。

【0030】(7) ステップ409でそのジャンルの小項目名の1つ、例えば、果物を指示すると、提供されている果物の写真等のイメージ、価格及び販売している店名が図5(h)に示すように複数商品について、前述と同様なチラシにより表示される。このチラシは、画面内に表示されるチラシを示している頁の下隅のまぐれた部分を指示することにより、ページをめくるように次々と変わって販売している果物の全てについての表示が行われる(ステップ410)。

【0031】(8) ステップ410で多くの商品を見ている途中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図6(a)に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる(ステップ411)。

【0032】(9) ステップ411の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図6(b)に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、順にチラシの頁をめくってステップ410からの操作を繰り返す(ステップ412、413)。

【0033】(10) ステップ402で、表示された探し方を選択するためのボタンの中の「特売品選択」のボタンをマウス等により指示すると、画面例を示していないが、特売品を店舗名から探すか商品から探すかを選択するためのサブメニュー画面が表示される(ステップ414)。

【0034】(11) ステップ414で店舗名から探すとして「店舗選択」のボタンを指示すると、図6(c)に示すように、このデータベースに商品データを提供している販売店であるスーパー等の店名が表示される(ステップ415、416)。

【0035】(12) 顧客が買物をしたい店名を指示すると、その店で特売品として提供している日替りの限定商品のリストが図6(d)に示すように表示される。このリストの日付けを指示することにより、その日の特売品のチラシが写真等のイメージと価格情報とにより、図6(e)に示すように表示される。多くの商品が特売として販売されている場合、画面内に表示されるチラシを示している頁のまぐれを表示している下隅を指示することにより、ページをめくるように次々と変わってその店で販売している商品で情報提供されている全ての商品についての表示が行われる(ステップ417、418)。

【0036】(13) ステップ418で商品を見ている途

中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図6(f)に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる(ステップ419)。

【0037】(14) ステップ419の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図6(g)に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、ステップ418からの操作を繰り返す(ステップ420、421)。

【0038】(15) ステップ415で商品から探すとして「商品選択」のボタンを指示すると、画面例を示していないが、特売品に関する商品ジャンルがステップ408の場合と同様に表示され、その1つを選択すれば、ステップ409の場合と同様にそのジャンルの小項目が表示される(ステップ422、423)。

【0039】(16) その後、ステップ410~413の場合と同様な画面が表示されるので、これにより、商品から特売品の買物の候補を選択していく(ステップ424~427)。

【0040】(17) ステップ407、413、421、427で次の商品の選択を行わない場合、別の方法で商品を探すことにするか否かが表示画面により問い合わされる。ここで、別の方法で商品を探すことを選択すると、ステップ401の初期メニュー画面に戻って、ステップ401からの操作を再度行うことができる(ステップ428)。

【0041】(18) ステップ428で購入したい商品を探さないことを選択すると、これまでの操作で候補とした商品のリストを表示するか否かが表示画面により問い合わされる。ここで、リストの表示を行わないことを選択すると、ステップ401の初期メニュー画面に戻る否かが表示画面により問い合わされる。戻ることを選択すると、ステップ401からの操作を再度行うことができる(ステップ429、430)。(19) ステップ429でリストの表示を行うことを選択すると、図6(h)に示すように、前述までの操作で候補として上げておいた商品と、その商品の購入店、価格とがリストに表示され、消費税を含む合計額が計算されて表示される(ステップ431)。

【0042】(20) 顧客は、このリストの商品、総額を見て削除すべき商品があるか否かを判断し不要なものがあれば、リスト上のその商品の欄を指示して「削除」のボタンを指示すると、その商品がリストから削除されて新たなリストが作成され総額が再計算されて表示される。その後、「プリント」のボタンを指示すれば、リストがプリントアウトされる。このリストは、買物に出か

けるときに持って行くことにより、店を回る順序等の買物を効率的に行うための参考とされる(ステップ432、433)。

【0043】前述の図6(h)に示したリストの例は、商品と、その商品の購入店、価格とを1つのリスト内に収納しているが、購入店毎にリストを作成するようにしてもよく、この場合、各店毎の支払額が提示できることになる。また、リスト内の商品の詳細情報をもう1度見たい場合、リスト上のその商品の欄を指示してマウスによりダブルクリックを行えばよいようにすることができる。

【0044】前述した本発明の一実施形態は、買物に出かける前にデータベースを使用して買物のリストを作成し、その後の買物を効率的に行うことを可能にするものであるとして説明したが、本発明は、通信販売等のために適用することもできる。

【0045】次に、本発明を通信販売に適用した場合の操作と表示画面の例について説明する。

【0046】本発明を通信販売に適用する場合、前述した表示されるチラシ上の通販可能な商品に「通販可能」のボタンを表示しておく。そして、例えば、前述したステップ418で、図7(a)に示すように、特売品のチラシのテレビと電話機とに通販可能なボタンが表示される。ここで、テレビの「通販可能」のボタンを指示すると、ステップ419の場合と同様に、その商品の詳細情報が表示される。

【0047】この詳細情報を見て購入することとして「購入」のボタンを指示すると、図7(b)に示すように、税、配達料金込の価格、複数の配達可能日及び支払方法を選択するボタンが表示される。そして、希望する配達希望日と支払方法とのボタンを選択指示し、支払のためのクレジット情報を入力すると、確認のための画像が図7(c)に示すように表示されるので、配達日と支払方法とを確認して、「はい」のボタンを指示する。

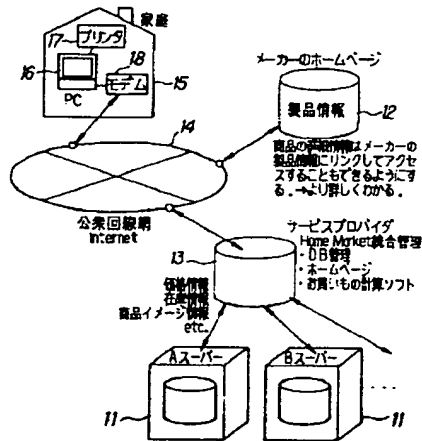
【0048】この情報は、データベースを管理しているサービスプロバイダ13からその商品を販売しているスーパー等に公衆回線網を介して報告される。報告を受けたスーパーは、支払方法で指定されたクレジット会社との間で支払の決済を行うと共に、指定された日に商品を顧客に配送する。

【0049】本発明の実施形態では、購入したい商品の売場の詳細を表示するようにすることも可能である。この場合、サービスプロバイダは、販売店であるスーパー等から売場のレイアウト情報を固定情報として提供してもらい、また、各商品の存在するレイアウト上の位置データを商品データと共に受けて、これらをデータベース上に管理する。これにより、顧客の要求により商品の位置を売場レイアウト上に表示することができる。

【0050】この場合、例えば、前述のステップ431の購入しようとしている商品のリスト表示画面に「売場

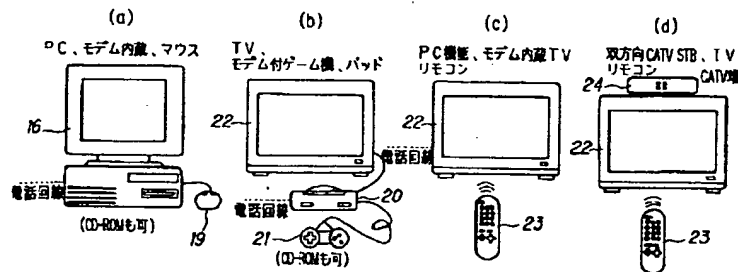
【図1】

【図1】

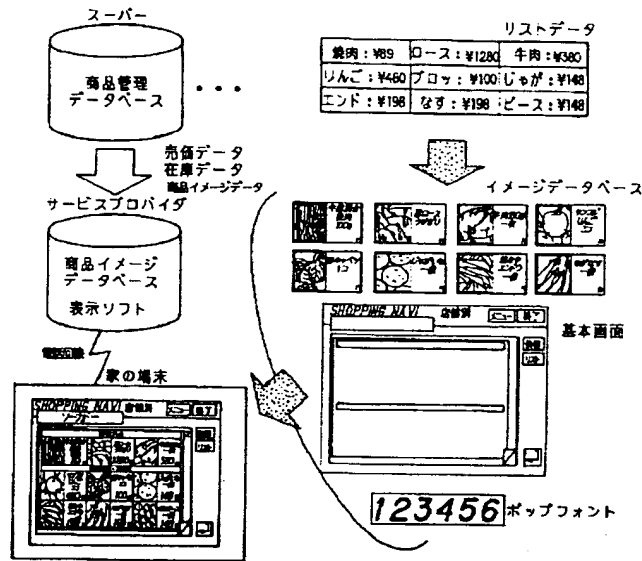


【図2】

【図2】



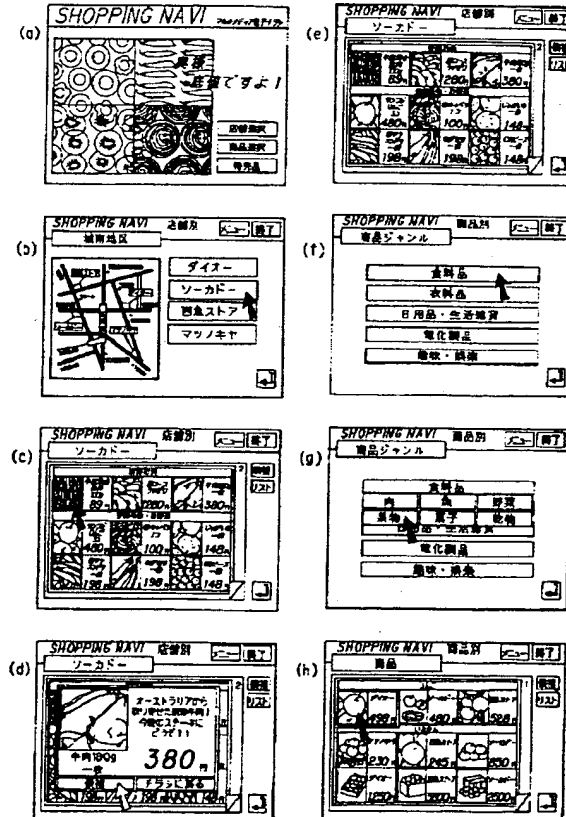
【図3】



【図3】

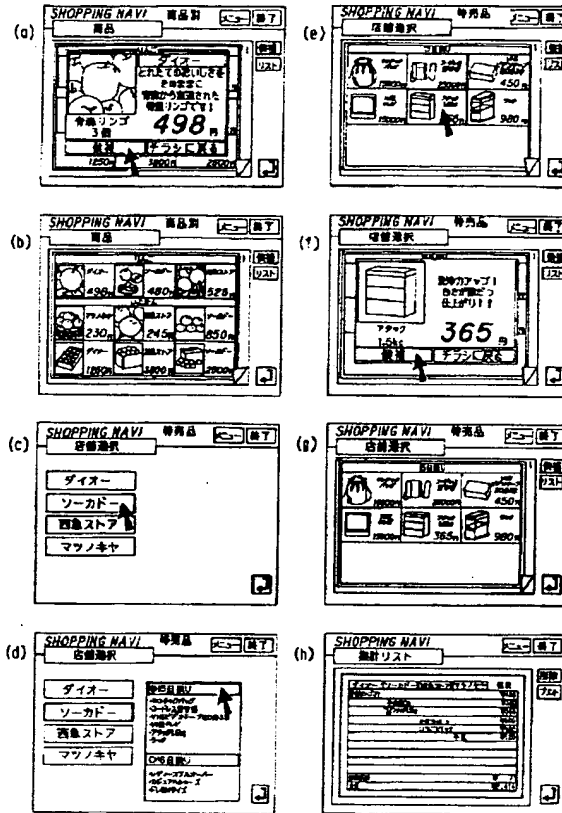
【図5】

【図5】



【図6】

【図6】



【圖 7】

【 附 7 】

